

# ■アンケート調査の実施について

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

「第5次寝屋川市地域福祉計画」の策定に向けて、市内在住の18歳以上の市民、地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等を対象に、地域の現状や福祉に対する意識、取組状況等を伺い、計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施します。

### (2) 調査の対象と実施方法

アンケート調査は、以下の2つの対象（市民、福祉関係団体等）に分けて実施します。

調査対象	今回調査（令和6年度）	前回調査（令和元年度）
市民	市内在住 18歳以上の市民 無作為抽出 3,500名	市内在住 18歳以上の市民 無作為抽出 2,996名
福祉関係団体等	地域福祉に関わる活動・事業に取り 組んでいる団体 600団体程度	地域福祉に関わる活動・事業に取り 組んでいる団体 597団体

### (3) 実施方法

令和6年(2024年)9月上旬に調査票を郵送配布し、翌10月にかけて回収します。

今回よりインターネット上に回答フォームを設置し、調査依頼文面に掲載した二次元バーコードもしくはURLを通じて当該回答フォームに遷移させることで、パソコン、タブレット、スマートフォンによる回答も可能とします。

また、調査票の発送2週間後の到着を目途に礼状兼催告状を送付し、回収率の向上を図ります。

## 2 調査項目の設定

### (1) 基本的な考え方

#### ① 時系列比較

現行「第4次寝屋川市地域福祉計画」の策定に当たり令和元年(2019年)10～11月に実施した前回調査の結果と比較し、5年間を通じた地域や福祉活動の状況、意識の変化を探ります。

#### ② 新規設問の設定

重層的支援体制整備事業や孤独・孤立対策に関する意識など、第5次計画策定の参考となる設問を新たに加えています。

#### ③ 調査対象者間の比較分析

2つの調査票に共通する設問を設定し、市民、福祉関係団体等それぞれによる意識の違いを探ります。

### (2) 調査項目一覧

#### ① 市民意識調査

テーマ	調査項目	今回調査	前回調査	備考
本人や家族	性別	問1①	問1	答えたくないを追加
	年齢	問1②	問1	選択式に変更
	世帯構成	問1③	問3	
	同居者で支援対象となりうる人の有無	問1④	問4・5	子どもと高齢障害をまとめる
	居住地域	問1⑤	問2	小学校区
地域の助け合い・支えあい	日常生活での行動範囲	問2	問10	
	近所づきあいの状況	問3	問9	本人のみで家族は今回聞かない
	自治会等への加入状況	問4	—	新設、他設問とのクロス集計により地域組織との関わり具合による意識差を探る
	自身や家族は地域で何らかの役割(役職)を務めているか	問5	—	
	地域での居場所の有無	問6	—	新設、居場所としてどのようなものが求められているかを探る
	地域の環境についての考え方	問7	問42	現在の状況のみ
	居住地域への定住意向	問8	問43	地域定住、市内の他所、市外へ
日常生活で手助けをしてほしいと思うこと、手助けができると思うこと	問9	問13 問18	項目を整理しつつ一体化	

テーマ	調査項目	今回調査	前回調査	備考
地域 (続き)	防災の取組や緊急時の対応	問10	問20	
	災害時の助け合いや協力の可否	問11	問21	
	地域で解決しなければならない課題	問12	—	新設、市民の視点からどのような地域課題があると認識されているかを探る
	孤独や孤立についてあてはまるもの	問13	—	新設、孤独・孤立対策を検討する上での実態把握
	地域における助け合いや支え合いを活発にするために必要と思うこと	問14	問22	
生活課題や福祉制度・サービス	福祉に関する情報の入手先	問15	問8	
	困ったときの相談先	問16	問16	実際の経験のみ尋ねる
	市に相談するときに困ったこと	問17	—	新設、重層的支援体制整備事業を展開する上での実態把握
	成年後見制度の周知度	問18	問31	周知手段・利用者は聞かない
	成年後見制度の利用希望	問19	問35	後見人になってもらいたい人は聞かない
	成年後見制度の利用で不安なこと	問19-1		新設、利用する上での問題を把握
	成年後見制度を利用したくない理由	問19-2	問37	
	市民後見人の周知度	問20	問38	
	再犯防止に関する広報・啓発活動についての周知度	問21	—	新設、再犯防止推進施策を推進する上での実態把握
	経済的に困窮する人に対して必要と思われる支援内容	問22	問30	
地域福祉を進めるための取組	福祉に関する活動への参加状況と意向	問23	問23	自由記述は末尾へ
	福祉活動への参加を促す取組	問24	問26	
	地域福祉計画に基づく活動や事業への参加・利用状況	問25	問41	
	社会福祉協議会が行っている事業や活動で知っているもの	問26	問39	
	社会福祉協議会の活動で充実してほしいもの	問27	問40	
	民生委員・児童委員の周知度	問28	—	新設、民生委員の活動内容の周知を兼ねる
	今後、寝屋川市として力を入れるべき内容	問29	—	新設、地域福祉を含む福祉政策に対する施策ニーズを探る
	自由記述	末尾	末尾	

※前回調査で設定し、今回設定しない設問

[単なる実態把握にとどまり、施策立案にあまり意味をもたないもの]

職業、健康状態、外出頻度、友人・知人と会う頻度、生きがいや充実感を感じること

[過去の調査結果から、今回同様に尋ねたとしても同じ結果になるとと思われるもの]

近所づきあいを通じて手助けができない理由、福祉に関する活動に参加していない理由

高齢者や障害者が将来的に不安を感じると思われるもの、後見人になってほしい人

[新規制度として今回は実態把握を行ったが、回答者への負担軽減のため今回省いたもの]

生活困窮者自立支援法の周知度、生活困窮の問題や支援制度の必要性

## ② 福祉活動団体等調査

テーマ	調査項目	今回調査	前回調査	備考
団体	団体の形態	問1①	—	法人格の有無など
	団体の規模	問1②	冒頭	会員数など、選択肢化
活動内容と課題	活動分野	問2	冒頭	選択肢化
	活動期間	問3	冒頭	選択肢化
	市内で取り組んでいる福祉活動	問4	冒頭	選択肢化
	連携・協力関係にある団体・機関等	問5	問1～3	選択肢化し大枠を把握した上で具体的な内容を記述してもらう
	連携・協力の内容	問6		
	今後、連携・協力関係を取りたい団体・機関等と活動内容	問7	問4～5	選択肢と自由記述の組み合わせ
	活動情報の発信状況	問8	問6	
	団体活動の問題点・課題・解決方向	問9	問7～10	選択肢と自由記述の組み合わせ
	避難行動要支援者への救助活動や支援について協力できること	問10	—	新設、災害発生時の支援体制づくりに向けた実態把握
	地域の状況と地域福祉を進めるための取組	地域の環境についての考え方	問11	—
地域福祉に対する意識が高まっていると思うか		問12	問11	
地域で解決しなければならない課題		問13	問12～13	選択肢化 [市民と共通]
地域における助け合いや支え合いを活発にするために必要と思うこと		問14	—	新設 [市民と共通]
福祉活動への参加を促す取組		問15	—	新設 [市民と共通]
成年後見制度の利用が必要と思われるのに利用に至っていない人の有無とその理由		問16	問15	
今後、寝屋川市として力を入れるべき内容		問17	—	新設 [市民と共通]
社会福祉協議会の活動で充実してほしいもの		問18	—	新設 [市民と共通]
団体として取り組んでいること、新たに取り組んでみたいこと		問19	問18	自由記述
自由記述	末尾	末尾		
団体名、記入者の職種・氏名	末尾	末尾	任意記入	

※前回調査で設定し、今回設定しない設問

[前回調査で対象回答者が少なく、今回も同様の結果が予想されるもの]

利用者で成年後見制度の利用者がいるか、動機、後見人は誰か

法人後見事業の実施予定の有無、理由

[新規制度として今回は実態把握を行ったが、回答者への負担軽減のため今回省いたもの]

成年後見制度の申立をする上での課題